

はちおうじ

臨時号
11.10
2000(平成12年)

八王子市財政白書を作成 財政危機回避に向けて

長引く景気低迷の影響を受け、民間企業では生き残りかけた必死の経営改善が行われていますが、自治体である本市においても厳しい経営環境(財政状況)にあります。では、具体的に、何がどう厳しいのか、なぜそうなったのか、これからどうしなければならぬのかを考えるために、「八王子市財政白書」を作成しました。本号では、この白書の概要をお知らせするほか、今後、市が作成する「財政再建推進プラン」に向けて市民の皆さんのご提案をいただく「提案八ガキ」を刷り込みました。

本市は、昭和三十年以降の人口急増に対応するため、義務教育施設を中心に、道路、下水道などの都市基盤施設、さらに、いちようホールやコミュニティ施設など、市民生活をより豊かにする各種公共施設の整備を進めてきました。これらの建設経費の大部分は、国や都の補助金のほか、地方債(長期に渡る借金)により賄ってきました。これは、長期に利用する施設の建設経費は、その建設年度の市民の皆さんだけに過大な負担をかけるのではなく、後年度利用される方にも負担してもらい、税負担の均衡を図るとの観点から行われたものです。

増え続ける義務的経費

しかし、長期に渡る景気低迷とその打開策である国の減税政策により、市税収入が減収となり、さらに、それを地方債で補って(借金を重ねて)きたことにより、平成十年度末の現債額(借金の未償還残高)は普通会計(*)で、二千六十億円(下水道など公営企業分を含めると三千二百億円)と、他市に比べ

る方にも負担してもらい、税負担の均衡を図るとの観点から行われたものです。

突出したものとなりました。その結果、当然、公債費(借金の返済)は増加し、人件費(職員の給料など)、扶助費(福祉の手当など)と合わせて、毎年必ず支出しなければならぬ義務的な経費の割合が、年々増え続けています。

このままでは、自由に使えるお金が少なくなるので、新しい事業が実施できず、市民サービスの低下が避けられません。そこで、今後も安定した市民サービスを提供していくため、財政再建が市政の重要課題となっています。

財政再建は喫緊の課題

八王子市長 黒須 隆一



本市は「財政危機」という病いを患っており、その症状は極めて重いものがあります。この1月、私は多くの市民の皆さんの御推挙により市長に就任致しましたが、市長選出馬に当たり、私の市政運営の最大の公約が「財政再建」でありました。市長就任後、つぶさに本市の財政実態に触れ、覚悟はしていたとは申せ、その病状は予想をはるかに超える大変厳しいものでした。借金である3,200億円にも及ぶ地方債残高、悪化の一途をたどる経常収支比率などなど。

しかし、この窮状を憂いているばかりでは、何ら解決にはなりません。そこで、私は、本市の財政実態を決算をベースに様々な視点から分析した「八王子市財政白書」を作成しました。

この白書を通し、今後の市財政を立て直すことが、私に課せられた最大の使命であります。

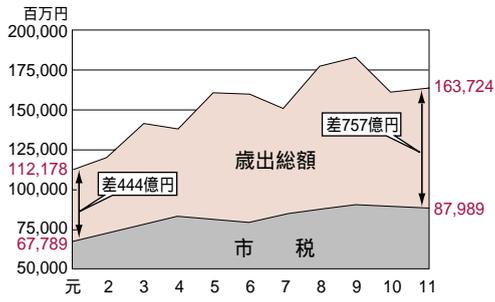
21世紀の扉はもう問もなく開きます。病を癒し、健康を回復するためには、あらゆる治療が必要であり、場合によっては手術を施さなければならないこともあろうかと思っております。どうか、今回の臨時号や「八王子市財政白書」をよくお読みいただき、御意見、御提言を賜わりたいと念じております。そして、御意見を踏まえ、明年早々には、改めて財政再建への処方箋をお示しする所存です。

21世紀の自立都市実現のために、そして、このまちで心豊かに暮らせる市民の皆さんのために。

拡大し続ける歳出総額と市税の差

平成元年度と11年度の歳出総額と市税の差を比較すると、元年度が444億円、11年度が757億円とその差が313億円も拡大しています。これは、景気の低迷や減税の影響によって市税が伸び悩んだことと、歳出において容易に削減することのできない義務的経費が増加しているためです。

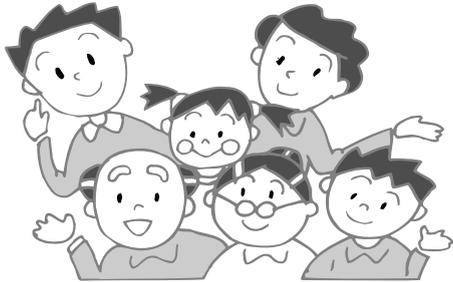
この差757億円は、国・都補助金や地方債で補てんとともに、積立金を取り崩すなどの財政対策を実施することになります。



八王子市の家計簿

苦しい台所事情

本市の財政状況を市民の皆さんに理解していただくため、市の財政を家庭(6人家族)の家計簿に置き換えてみると、下記のとおりとなります。

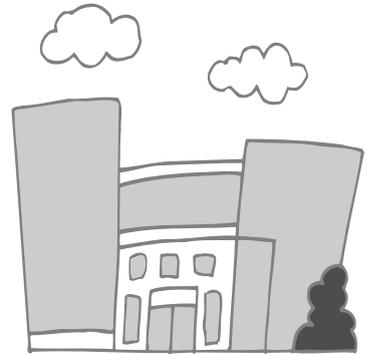


家族構成

父(40歳)会社員、母(38歳)パート勤務、長男(12歳)小6、長女(5歳)保育園児、祖父(78歳)老人ホーム入居、祖母(75歳)同居

市の歳入1,645億3,800万円をある家庭の収入600万円に置き換え、市の目的別支出(支出を行政目的によって分類)を家庭の支出に見立ててみました。収入は市税などを給料332万円に、国や都からの補助金をパート代146万円などに置き換えました。

支出は、民生費を老人ホームと保育園の経費181万円に、土木費を家の増築経費91万円などに分類しています。



八王子市役所

家計

(単位:万円)

収入		支出	
給料	321	生活費・趣味	61
	11	老人ホーム・保育園	181
パート	146	医療費	64
預金利子	14	家の増築	91
借金	36	塾の月謝、習事	79
その他の収入	72	家・自動車ローン返済	72
合計	600	その他の雑費	49
		収入支出の差	3
		合計	600

普通会計(*)

(単位:百万円)

歳入		歳出	
市税	87,989	総務費	16,889
使用料・手数料	2,981	民生費	49,691
国・都支出金	40,089	衛生費	17,453
諸収入	3,967	土木費	24,986
地方債	9,831	教育費	21,658
地方譲与税など	19,681	公債費	19,709
合計	164,538	労働農林商工など	13,338
		歳入歳出の差	814
		合計	164,538



福祉の支出が大きく

我が家の生活は、この家計簿を見ていただくとわかるように、老人ホーム、保育園(民生費)への出費が一番多く、全体の30%を占めています。このほか、家の増築(土木費)や塾の月謝(教育費)などの負担が大きくなっています。また、貯金が46万円、借金が750万円となっています(左下表参照)。わかりやすくするためのたとえですので、実際の平均的な家計の収支構成とは違います。

貯金・借金

家計(万円)	
貯金残高	46
借金残高	750

普通会計(百万円)	
基金	12,724
地方債残高	205,805

*用語の解説

27市...都内27市(本市を含む)の単純平均

類似団体...関東近県6市(宇都宮市、浦和市、大宮市、市川市、松戸市、横須賀市)の単純平均

普通会計...自治省が定めた統一基準による統計上の会計区分。本市においては、一般会計と土地取得事業会計、駐車場事業特別会計(自転車駐車場分のみ)の各決算額を合算、重複の控除などを行って作成しています。全地方自治体が行うため、他市との比較が可能となります

数値...数値は普通会計を使用し、表示単位未満を四捨五入しています。端数処理で、各グラフの足し上げが、合計数値と合わない場合があります

